

1 学校教育目標

総括目標

ふるさとを愛し 世界に目を向け
仲良く学び合う 心豊かな児童の育成

具体目標

・期待する児童像

- すすんで学ぶ子ども
- 思いやりのある子ども
- 健康でたくましい子ども

・期待する学校像

- 居心地のよい学校
- きれいな学校
- 生き生きした学校

・目指す教師像

- 常に子どもと共にある教師
- 協働の姿勢を持ち、互いに高め合う教師
- 責任感ある行動を取り、地域・保護者に信頼される教師
- 自己の健康管理に努め、服務に厳正な教師

2 学校経営方針

(1) 学校経営の基本

学校の主人公である子どもたちが学校において、笑顔で生き生きと学習や運動等に励み、他者と力を合わせてことを成し遂げることができるように、私たち教職員は、保護者や地域の皆さんと連携を深めながら、全力で職務を遂行させなければならない。学校目標や経営方針が達成されるように、次の基本事項をもとに、職員の和（子どものために・教育のために・学校のために心をつなぐ）が基本、明るく楽しい職場を大切に、全職員の参画を得て学校経営を行っていく。

- ① 知・徳・体の調和を重視した教育活動の推進に努める。
- ② 学級経営を学校経営の基本に位置づけ、すべての子どもにとって居心地のよい学校・学年・学級づくりに努める。
- ③ 家庭や地域との連携を図り、信頼される学校づくりに努める。
- ④ 組織的に予防的生徒指導に努め、協働的な生徒指導体制を確立する。
- ⑤ インクルーシブの理念を生かした組織的な特別支援教育の推進に努める。
- ⑥ 互いに使命感や専門性を啓発し合い、教職員は自らの資質向上に努める。
- ⑦ 気づき→考え→実行する行動力を学級や児童会の自治的活動を通して養う。

基本事項に取り組むため、子どもたちと向き合う時間を確保する。～働きかた改革の推進

- ① 校務分掌等のスリム化（昨年度からの具体的な取組をさらに推進する）
- ② 会議内容の精選（提案は簡潔に短く）及び会議資料の事前提示
- ③ 校務支援システムの活用

(2) 本年度の指導重点

誰もが居心地よく過ごせる学校

- ・よりよい人間関係を育てる土台となる学級・学年集団づくり
- ・達成感、自己有用感、帰属意識の体験
- ・一人一人にとって居場所となり、意欲をもって楽しく学べる授業づくり

知 **確かな学力づくり**・・・進んで学ぶ子ども

◇ わかる・楽しい授業の実施

- ・ICT 機器（タブレット端末、デジタル教科書、ミライシード等）を活用する。
- ・算数を中心に TT による授業を実施し、わかる授業・楽しい授業づくりに努める。
- ・「指導と評価の一体化」を目指す授業改善
- ・授業規律のさらなる確立（聞き方、発言の仕方、ノート指導等の系統的な確立を目指す）

◇ 基礎的・基本的な知識、技能の定着

- ・個に応じた指導の工夫・改善
- ・算数の TT 授業により、基礎基本の定着に努め、個に応じた学習支援の充実を図る。
- ・音読や暗唱、計算や漢字練習の反復練習の徹底（愛郷タイム等）
- ・情報活用能力の育成及び推進

- ・家庭学習と授業の有機的な連結
- ・学力テスト実施及び分析結果の活用

◇ 国語力向上の推進

- ・全教科を通して「話すこと・聞くこと・書くこと・読むこと」の指導の徹底
- ・朝読書の時間の充実及び日直活動、話し合い活動の活発化

徳 **豊かな心づくり**・・・思いやりのある子ども

◇ 想像力の育成

- ・自他を大切にする学級経営
- ・豊かな体験と感動の共有
- ・**道徳の授業の充実**

◇ 集団の一員としての意識と実践力の育成

- ・社会的マナー（時間を守る，ルールを守る，返事，挨拶，言葉遣い等）のさらなる定着
- ・基本的生活習慣の確立
- ・教師と児童の**信頼関係づくり**
- ・係活動，当番活動を通しての実践力の育成
- ・**清々しい環境づくり**

◇ 自分の生き方を考えることができる力の育成

- ・道徳教育の充実
- ・体系的なキャリア教育の推進

◇ 適切な生徒指導及び協働体制の確立

体 **健康な体づくり**・・・健康でたくましい子ども

◇ 子どもの安全・安心を守る活動の推進

- ・新型コロナウイルスの**感染防止と感染拡大防止の取組の徹底・継続**
- ・防犯，防災・減災，交通安全指導の徹底

◇ 健康に関わる資質の育成

- ・健康体力づくり活動のさらなる推進（体育・なわとび・外遊び～コロナ禍を踏まえた取組）
- ・食教育の実践
- ・保健教育及び歯磨き指導の充実

地域や世界で活躍する人材づくり

◇ 地域を知り，山梨を知り，国内・世界に目を向ける教育の推進

- ・**地域学習の充実**及び地域活動への積極的参加

◇ 英語科及び外国語活動の充実

- ・CAN-DO リスト形式による到達目標をもとにした評価の実施及び総括的評価への活用

◇ キャリアパスポートの効果的活用の推進

特性や個に応じた指導の充実

◇ 支援の充実と合理的配慮の実践

- ・**不適応加配，教員補助員と連携し，通常学級に在籍する支援を必要とする児童への合理的配慮を実践する。**
- ・関係諸機関との積極的連携
- ・ユニバーサルデザインの活用
- ・教職員の専門性の向上（研修等の推進）

つながりづくり

◇ 家庭や地域社会との連携の強化

- ・地域の方々や保護者による授業支援活動の推進
- ・学校評価の効果的活用
- ・幼保小中，学童等との連携

居心地のよい学校づくり 「楽しい・居場所がある・安全・安心」

◇ 一人ひとりが楽しく生き生きと活動できる場の充実 ～一人一人の居場所を大切にする

- ・**学級経営の充実**（授業づくりと学級づくりが両輪）
- ・**集会や行事への関わりを大切にする** ～縦割り班活動のさらなる充実
- ・いじめは許さない 黙認しない 気づいて関わる
- ・「SOS の出し方に関する教育」の推進
- ・組織的で予防的な生徒指導に努め，協働的な生徒指導体制を確立する ～定期的な情報交換

◇ 危機管理意識を高め，子どもたちが安全で安心して過ごせる学校づくりの推進する

- ・施設設備の定期的な点検
- ・防災訓練や交通安全教室の実施及び通学路点検の実施
- ・地域との連携（スクールガード）